

# 103-184

## 問題文

40歳女性。丸顔と中心性の肥満を伴った高血圧症と糖尿病の患者。二次性高血圧の精査のため受診したところ、早朝空腹時の血中ACTHとコルチゾールの高値を認めた。

そこで入院の上、就寝前に0.5mgのデキサメタゾンを内服して翌朝の血中コルチゾールを測定したところ12 $\mu$ g/dLであった。翌日、就寝前に8mgのデキサメタゾンを内服して、その翌朝に血中コルチゾールを測定すると3 $\mu$ g/dLであった。

本症例の病態として適切なのはどれか。1つ選べ。

1. クッシング病
2. 異所性ACTH産生腫瘍
3. 副腎腺腫
4. 副腎癌
5. 副腎皮質過形成

---

## 解答

1

## 解説

丸顔、中心性の肥満などが特徴的で、**クッシング症候群** が連想されます。「ステロイドの副作用で ムーンフェイスとか、肥満があったよね」 ぐらいで十分な連想ではないでしょうか。 ※クッシング症候群 というのは 慢性的に糖質コルチコイドが出ていることの総称です。 何らかの具体的疾患名ではないことに注意です。

行われている試験は、デキサメタゾン大量投与により コルチゾール分泌の抑制が 見られるかどうかの試験です。 見られると、クッシング病と考えられます。 抑制が見られない場合は、副腎腺腫や、副腎癌、異所性ACTH（副腎皮質刺激ホルモン）産生腫瘍などと考えられます。

以上より、正解は 1 です。

ちなみに、選択肢 5 の副腎皮質過形成は 副腎のサイズが大きくなっている状態のことです。先天性副腎皮質過形成などが知られています。

## 類題